

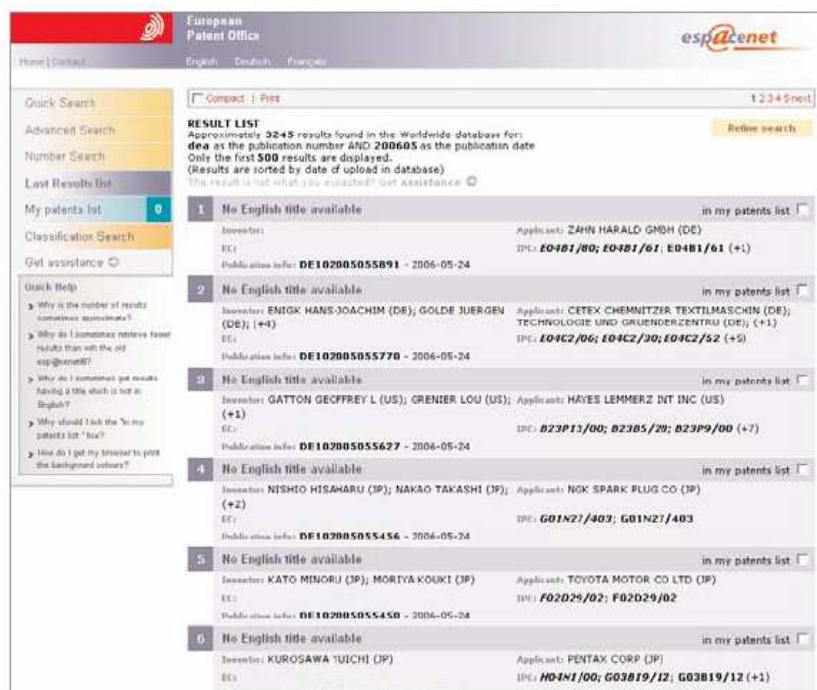


Patent Information news

esp@cenet EPO responds to users' requests

EPO、ユーザの声に答える。

esp@cenet サービスの発展に esp@cenet ユーザコミュニティがこれまで多大な影響を与えて来ました。最新の改良(6月末頃に公開予定)はユーザのコメントと提案に基づいて成されたものです。主な変更は以下の通りです。



“no English title available”

esp@cenet で時々出現する“no English title available”メッセージは、ユーザにとって多大なフラストレーションの元凶でありました。これからは、ドキュメントに英語のタイトルがない場合、esp@cenetはドイツ語のタイトルを表示するか、ドイツ語のタイトルがない場合には、フランス語のタイトルを表示します。また、3言語のタイトルがない場合には、オリジナルの言語でタイトルを表示します。

“My patents”保存期間

“My patents”リスト保存期間を30日から1年に延長しました。

“mosaics”と“maximize”関数の改良

“モザイク(図面)”頁を通してのナビゲーションは、モザイクhtml 頁用のキーアクセラレータの導入により改良され、“maximize”関数は、最大スクリーン用の“Close”ボタンの追加で強化されました。

“Including family”

混乱を引き起こしてきた、とあるコメントから、番号検索画面上にあった“including family”の四角いチェックボックスを取り除きました。ユーザは、未だにドキュメントの書誌情報スクリーン上を介してINPADOC ファミリメンバーを検索しています。

ECLA のサブグループランケーション

ECLA フィールドの検索に、ユーザ待望のサブグループランケーションが導入されました。アスタリスク(*)を使って、例えば、G11B5/62*と入力します。アスタリスクは、このフィールドでのみ利用できるランケーションであることをお忘れなく。

“Y”タグは、現在 ECLA コードでドキュメントを検索するのと同じ方法で、ナノテクノロジードキュメントを検索するのに使用されています。

(<http://forum.espacenet.com/viewtopic.php?t=339>)

esp@cenet開発運営陣は、ユーザの欲していることを知りたがっています。どしどし提案や要求をお寄せ下さい。esp@cenetヘルプデスクまたはesp@cenetフォーラム(<http://forum.espacenet.com>)まで。

In this issue

- 2 esp@cenet forum
- 2 Implementation of IPC8 data in EPO bibliographic databases
- 3 Editorial
- 3 Searching using IPC 8 – a reader's views
- 4 MIMOSA prototype for Lithuania
- 5 Databases and patent information services in Japan
- 6 Are you fit for Asia?
- 6 Changes in Korean Patent Law
- 7 How to communicate the value of your patents
- 7 RSS feeds on WIPO's PatentScope
- 7 Publication News
- 8 Other News

2006

esp@cenetフォーラム

ヘルプデスク、ヘルプファイル、そして *esp@cenet* アシスタントに加え、ユーザ委員会もまた、

<http://forum.espacenet.com> の *esp@cenet* フォーラムを利用することが出来ます。フォーラムは、ユーザ同士の裏技紹介の場であると共に、いろんな経験(失敗談、成功談)を交わす場でもあります。

フォーラムの特徴は、幅広いトピックスについて活発に討議されるということです。*esp@cenet* チームの人たちは毎日これを読み、数多くの出来事の盛り上がり度をここから読み取っています。例えば、*esp@cenet* における IPC8 検索の話題があります。そして、*esp@cenet* に変更や改善が必要有りと判断したときは話題の投げかけを採用します。

2003 年のフォーラム開始後、登録ユーザの数は、2005 年 1 月に 900 人程度でありましたが、2006 年 5 月には 4500 人に増大しました。現在、このサイトへの全訪問者数は百万以上を優に超えています。この方法を喜び、全ての *esp@cenet* ユーザにこの有意義な情報源を利用するよう奨励したいものです。

esp@cenet フォーラムに入会するのは簡単です。ニックネームと e-mail アドレスを登録するだけで、無償で入会できます。フォーラムはあなたの意見やアイデアを *esp@cenet* の検討課題に取り上げてもらえる有効な手段となっています。

もうすぐ公開される *esp@cenet* リリース情報(発表前のもの)や新しいオープンパテントサービス(OPS)スレッド(質疑応答のメッセージ群)にも注意しましょう。また、私達はボランティアユーザに新しい *esp@cenet* の特徴と機能をテストするようお願いするつもりです。

さあ一緒に *esp@cenet* ユーザ委員会に貢献しましょう。

<http://forum.espacenet.com>



EPO 書誌データベースにおけるIPC8版データの実施——ステータスアップデート

F(First)とL(later)インジケータ

1/2006 のパテントインフォメーションニュース以後、first/later インジケータについてその時に掲載した情報は全く正しいものではなかったことが後の調査で判明しました。EPとFRフロントファイルドキュメントのいずれもF/Lインジケータを運用していませんと、間違った記事を掲載していました。実際には、これまで



IPC8 データを EPO に提供し続けてきた全ての国は、IPC8 用の F/L インジケータを使用していますが、これは、マスター分類データベース(MCD)内の新しくできたエントリーに採用するだけです。

他のファミリーメンバーから伝搬して分類を受け継いだドキュメントは、F/L インジケータを運用しません。例えば、EPO は、新しい EP 公報が正規の新公報である場合や、2006¹ 以前で最初の公報が WO や EP-A に基づくものでない場合には、新しい EP 公報に F/L を採用します。

全プロセスが関係者に取って新しいものであったため、特に IPC8 の導入後に配送された最初のドキュメント束の中の F/L インジケータに関してはちょっとした矛盾もあったかもしれません。これらの矛盾は可能であれば 2006 年度コースを通して徐々に修正されることでしょう。

IPC8 の検証ファイルと IPC7 から IPC8 への変換テーブルの保管場所

IPC8 計画は WIPO により施行されました。IPC8 コアレベル計画と、IPC7 から IPC8 への変換テーブルは XML 形式で、WIPO ダウンロードエリア

www.wipo.int/classifications/ipc/en/download_area/ から入手できます。

個々の IPC8 記号(英語とフランス語)標記は、

www.wipo.int/classifications/ipc/ipc8/?lang=en で見る事が出来ます。

WIPO は双方向 IPC 検証ツールを、www.wipo.int/ipcval/ipc_check.php で提供しています。

WIPO はまた IPC 記号を調べる「自然言語」インターフェースを提供しています—www.wipo.int/tacsy の TACSY と www.wipo.int/ipccat/ の IPCCAT² です。

完全な IPC8 検証ファイルは、www.wipo.int/ibis/IPC8/ で見る事が出来ます。

WIPO は IPC に関する全ての問い合わせに対して専用 e-mail アドレスを設けました。ipc.mail@wipo.int にメールしてください。

IPCアドバンスレベルの第1回の改訂

以下のテーブルには、IPCアドバンスレベルの次の(2007年1月頃)改訂候補に挙げられている現在検討中の技術分野が示されています。

A01N65	植物性殺虫剤
C08K,C08L	高分子と非高分子成分の組み合わせ
H04H	放送配信システム
H04W	ワイヤレス通信

詳しくは www.wipo.int/ipc-ief/ をご覧下さい。

¹エキスパートへのお知らせ:このケースでは、分類は ST.8 スtring のポジション 39 に "B" (ベシック) を運用します。F/L インジケータは、2006 年以前に公開されたドキュメントの "R" (再分類) 分類、それらのファミリーメンバーには採用されません。

²これらのサイトへのアクセスは登録ユーザのみとなっています。

editorial news

水中から襲いかかる鮫

2006年5月3日と4日に、ヨーロッパ特許庁は、二日間に渡る「ヨーロッパの発明者デー」と名付けた会議とお祭りをブリュッセルで主催しました。

1日目の会議のテーマは、「ヨーロッパの競争特許システム」で、2日目は「中国の特許ビジネス」に議論が注がれました。

ヨーロッパ委員会の DG エンタープライズ & インダストリーのディレクターである David White 氏のヨーロッパIPシステムの現状を踏まえたスピーチでは、彼は現状における数多くの非難を論説しました。また、彼はずっと昔に、ジョーズの映画を見るためにこの会議室と全く同じ部屋に妻と一緒に座って見たとスピーチをしました。その時、彼は誰かがスピーチか IP 記事の中に鮫とその大きく開けた顎の画像を使わないかなと思ったそうです。そう、彼の予想は正に現実になりつつあります。

一方、ヨーロッパIPの現状を極端に厳しく分析する、DG インターナショナル マーケット&サービスの副長官である Thierry

Stoll 氏は、委員会側に膨大な活動に対するニーズがあったと言及しました。

委員会は、共同体特許で再検討を考えていました。それは大勢の参加者が希望していた「ヨーロッパ連合特許」のリネームのことでした。更に彼は、日本と中国において、IP 戦略の発展は最優先事項の国策のように思われます。ここヨーロッパ連合もまた、アメリカ企業の十分に成熟した IP 戦略に打ち勝つためにアクションには入らなければなりません。そして図を用いて、少し引き潮であった潮の流れが正に今変わろうとしていますと、話を続けました。

二日間の会議で行われたスピーチとプレゼンテーションでは、中国が構築した特許システムが紹介されました。中華人民共和国の商務部で貿易交渉事務局の事務局次官であります Zhao Hong 氏は、ヨーロッパの国々が200~300年掛かってきたことを、中国はこの四半世紀の間で成し遂げたと言及しました。企業の皆さんからは中国での外国人出願は、公正且つ効率的な手続き(手頃な費用による迅速な保護)を受けているという点では同意が得られました。同時に、ヨーロッパの企業は中国システムの使用と、IP 権利化のための出願を迫られていました。

そうしないと、侵害に対するアクションが失敗するからです。

ヨーロッパでは、徹底した努力が功を奏して大学からの特許出願率が増えてきました。中国ではこの比率は既に USA のレベルに到達しています。この結果、主要な技術で基本特許となりうる高水準の出願がされるようになりました。

中国の首相である Wen Jiabao 氏は、2004年6月に、“今後起こりうる競争として考えられるのはIP競争・・・”であると言及しました。そして、そのことが私にジョーズの映画の鮫のイメージを思い起こさせました。もし、出願の波が上げ潮を続けていくとしたら、ヨーロッパ企業はもはや無視できないくらいの出願の流れが到来することでしょう。中国特許明細書のフルテキストは英語に翻訳され企業でも利用が可能とならなければ、巨大な白鮫が、アクセスの不完全な特許ドキュメントのうねりの中から何度も何度も襲いかかることでしょう。そして、ヨーロッパ企業はその餌食となるでしょう。

Wolfgang Pilch 談
Principal Director Patent Information

IPC8 を使ったサーチ—— 読者の見方

2006/1 のパテントインフォメーションニュースの記事の中のIPC関連記事に続いて、UKで働いている特許サーチャである Paul Gilbert 氏から、次のような投稿を受け取りました。

私は、25年以上も特許サーチを行ってきた中で、テクノロジーや利用可能なサーチツールではかなりの変革を見ました。この間に、IPCの進化は徐々に行われてきましたが、IPC8の施行は確立していたシステムに対し最も過激なリフォームでした。

しかしながら、ある分野(技術の変化が激しい重要部分)ではこのリフォームはより詳細な分類が提供されましたが、同時に、IPCの使用では、未だ特許庁と情報供給者による公報への一貫した分類付与成されていません。

結局のところ、意味のある方法で公報に分類を付与していないのであれば、分類をサーチする点には意味はありません。もし、分類に発明の特定の観点(観点が記述されているのであれば、その時は、発行庁により付与された、或いは後に、情報供給者により付与されたものは完全に妥当性を満たしていると思われれます。同じように、詳細な分類の存在は、発明の本来の視点をカバーしている広義の分類レベルで分類された発明を除外してはならない。

一見すると、これらの要件はIPC8のコアレベルとアドバンスレベルのなかで見事に達成されていますが、サーチャとしては、データベースに一貫して採用されているサーチ可能データに未だ頼っています。アドバンス分類は、全ての関連分類が含むように、そして、

サーチャに審査官の思いと一致した関連分類が同定できたと思わせる手段(確かに、義務かもしれませんが)を提供しています。

2006/1 発行のパテントインフォメーションニュースでの Wolter 氏の記事に、面白い論点が挙げられていました。そして、彼のように、私も発行庁と情報供給者は、世界中のサーチャが自身を持って利用できる首尾一貫した分類システムを形成し、採用できる類のない手段を築くことを望んでいます。

Paul Gilbert, Search Manager
Barker Brettell, UK

ヨーロッパパテントインフォメーションについて何かありましたら、お気軽に、パテントインフォメーションニュースの編集長 dshalloe@epo.org までご連絡下さい。

¹この記事は執筆者の意見を述べたもので、Barker Brettell 氏の意見を必ずしも反映したものではありません。

リトアニア用のMIMOSA 試作品

リトアニア特許庁のオフィシャルガゼット用MIMOSA試作品が最近開発されました。それには、特許、商標、意匠に関する情報が記録されています。製品版にはまた審判部の審決と専門職代理人に関する情報が含まれています。

特徴

PDF版

(www.vpb.lt/en/index.php?c=gazette.php)とは異なり、この新しいガゼットは、弁理士、出願人、発明者、権利者が収録され、MIMOSAで検索が可能です。



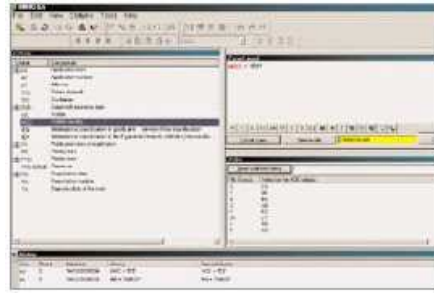
商標表示画面には、WIPOのウィーン分類ウェブインフォメーションにリンクする新しいMIMOSAハイパーリンク機能が追加されています。

ニース分類へのハイパーリンクは最終版で統合されます。ドキュメント画面では、書誌事項、リーガルステータス情報が提供されます。フルカラー商標画像と現況データもまた入手可能です。

詳しくは、Ute Koplin(ukoplin@epo.org)または Ignacio Muñoz Ozores(imunozozores@epo.org)までご連絡下さい。

MIMOSA ユーザソフトウェア、リトアニアに行く

MIMOSA ユーザソフトウェアのリトアニア言語版は、現存する言語インターフェースのリスト付きで、リトアニア特許庁オフィシャルガゼットの試作品と共に発売されました。リトアニアインターフェースはこの年の下旬に、MIMOSA バージョン 5.2 の付録として発売されます。



MIMOSA LTOG 試作品 — 商標用のエキスパート検索画面の一例

MIMOSA に関する情報は、
<http://mimosa.european-patent-office.org> をご覧下さい。

製品間相乗効果の利用法

EPO データがどの様にして準備され、その結果、あなた方が利用するソフトウェアがそれをどの様にして読み取っているのか、これまで不思議に思いませんか？ そう、ツールの一つによく知られている“JTASK”があります。これは、ヨーロッパ公報サーバと ESPACE 製品の両方の入力データを生成するのに利用されています。

JTASK とはなんですか？

EPO と国内特許庁が利用するために開発された JTASK は、データ処理制御装置です。例えば、基本的書誌データ、画像および PDF ドキュメントが記録されている ESPACE データベースを生成するために、データベース準備責任者は JTASK を立ち上げ MIMOSA 検索ソフトウェアが利用できるデータベースを生成しています。

どんな利益が特許情報ユーザにあるのでしょうか？

JTASK はヨーロッパ公報サーバと ESPACE の両方で利用されるため、製品の幾つかは統合でき、全体の処理工程数を減少することができます。これは時間の節約はもちろんエラーを極力少なく、しかも色々な製品やデータベースに渡って首尾一貫したデータ品質を保証することが出来ます。この結果、ユーザは分類記号のように、調和した信頼できるデータ要素の取り扱いが出来るようになります。この JTASK は特許情報製品間の相乗効果を引き出してくれると共に、特許情報製品が“完全に正しく、タイムリー”であるべきだというユーザの要求を満たしています。

EPO 連合国、電子公報に魅了される

EPO 連合 19 カ国の国内特許庁代表と WIPO からの代表は、2006 年 5 月、ヨーロッパ公報サーバ、MIMOSA、ESPACE ACCESS-EPC、そして Java に基づく製品ツールに関するトピックスを議論するためにウィーンの特別会議に出席しました。

イベントで紹介された新しいリトアニア特許ガゼット(別記事参照)では、いかに MIMOSA が商標や意匠と言った異なるタイプの IP 公報をも取り扱うことができるかが示されました。また、EPO は、1990 年以降の、EPO 連合国からの書誌事項と英文アブストラクトデータを提供している ESPACE ACCESS-EPC を発表し、オンライン製品としてどの様に使用するか実演して見せました。代表者達は出来るだけ早くオンライン上でリリースされた製品を見たいと EPO に嘆願しました。

皆さんの意見が伺えるミーティングは、技術レベルにあるキー操作者にとって最も良い演習の場として、そして彼らの見方や考え方を交換できる機会として歓迎されてきました。こうしたことが、面白い新しいサービスや製品を順次生み出していく手がかりとなります。



日本におけるデータベースと特許情報サービス

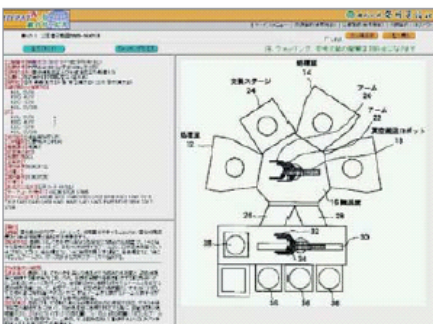
日本特許情報に興味を抱いているパテントインフォメーションニュースの読者の皆さんには、既に PATOLIS (パテントオンライン インフォメーション システム) データベースはご存じかと思えます。PATOLIS は、10年間もの間、日本における工業所有権の全てのタイプに関する唯一、最も包括的な情報源でありました。

残念なことに、PATOLIS-e 英語版が 2006 年 9 月に閉鎖されました。このニュースに刺激され、EPO はより広く日本で提供されているサービスを見つける事にしました。そして、EPO は、多くの最近になってサービスを開始された新しいデータベースサービスとサービス提供者を見つけました。現在、日本で特許情報データベースを提供している商用企業は 20 社ほどあります。この記事では、その中から、非日本人ユーザが興味を引くサーチと結果表示を提供している 2 社のデータベースを紹介します。

HYPAT Web

1951 年に設立した日本商用企業である発明通信社 (www.hatsumei.co.jp) は、50 年以上も特許情報サービスを提供し続けてきました。“HYPAT Web”インター

HYPAT Web のアブストラクト、請求の範囲、図面付き出力フォーマット



ネットデータベースは 1971 - 現在までの日本特許及び実用新案ドキュメントにアクセス出来ます。データは公式 JPO ガゼットで公開された次の日から利用できます。

HYPAT Web の特徴は、全文検索と 1983 年から現在までのドキュメントのダウンロードができます。

1983 年から 1992 年までの過去分に関しては OCR でスキャンしたもので、1986 年以降のスキャンドキュメントの請求の範囲 (クレーム) は品質保証のため人為的チェックが施されています。

HYPAT Web は、IPC、FI、F ターム (全 F タームリストに検索可能なりファレンスガイドが入っている) 分類サーチ、全文、クレーム、アブストラクトにおけるキーワード検索、そして SDI からなる上級者用サーチを提供しています。

ユーザはサーチ結果の統計的分析を実行することが出来ます。例えば、結果リストの中で最も関連度のある IPC クラスを同定することや、特定の技術分野における最も活発な出願人を特定する事が出来ます。

その他の HYPAT Web の特徴で“概念検索”があります。これは自然言語入力と、検出したドキュメントのランキングができます。次のステップでは、“再ランキング”機能を設け、検索結果を更に使い易くすることでしょう。

HYPAT Web はまた、出願人情報、特許付与/特許付与後情報 (年金の支払い、年金の期日を含む)、審判情報、引例情報を分けて、そして完全なリーガルステータス情報を提供しています。引例のリンクからは、引例ドキュメントを直接 PDF 形式でダウンロード出来ます。

NRI サイバーパテントデスク

野村総合研究所グループ (www.nri.co.jp/english) の一つである NRI サイバーパテント会社 (www.patent.ne.jp/) は、日本で最初にインターネットを介して特許情報と技術情報を提供した会社です。

NRI サイバーパテントデスクは、日本、米国、欧州からの特許ドキュメント、PC TD ドキュメント、パテントファミリ (INPADOC)、そして同時に非特許文献とビジネス情報にアクセスできる円熟し

た特許入手門となっています。

上級者サーチ機能には、IPC、FI、F ターム (分類記号の正しい入力フォーマットの例を提供するコンテキストメニュー付き) を使った分類サーチと、全文、請求の範囲 (クレーム) または抄録中で検索できるキーワード検索が含まれています。“概念検索”オプション (自然言語入力に基づく類似検索) は、日本と米国ドキュメントの両方に利用可能です。検索結果は表示と、PDF、HTML、XML、あるいは CSV 形式でダウンロードが出来ます。



引例付き NRI サイバーパテントリーガルステータス フローチャート (左フレーム)

NRI サイバーパテントは、出願番号から検索可能な、完全な日本語リーガルステータス情報を提供しています。それぞれのリーガルステータスイベントでは、リーガルステータスコード、コード説明、有効データと料金 (該当する場合) が表示されます。引用した、および引用された引例ドキュメントは PDF 形式で直接ダウンロード出来るようリンクされています。

便利な特徴機能としては、フローチャート形式でドキュメントの現行リーガルステータスが表示されることです。これにより、日本における特許付与までの手続き上の全工程を見ることが出来ます。未だ手続きが取られていないステップは灰色で、行われたリーガルステータスイベントは青色で表示されます。フローチャートの青色ボックスのどこかをクリックすると、関連するリーガルステータスコードが開き、有効データとコード説明、あるいは利用可能な追加情報を表示します。(例えば、出願の拒絶査定の際の引例ドキュメント)

詳しくは、Irene Schellner (ischellner@epo.org, +43 1 52126 4372) もしくは、EPO アジア特許情報チーム (asianinfo@epo.org) までご連絡下さい。

あなたはアジアの適任者ですか？

…を知ってましたか？

…KIPRIS サーチシステムの利用に登録がもうなくなりましたか？2006年4月28日、全てのKIPRIS(韓国工業所有権サービス)データベースは、ユーザIDとパスワードを登録するようユーザに求めていたのを止めました。全検索結果のダウンロードや、サーチ検索式を保存する場合には、未だ登録が必要です。KIPRISシステムは、特許・実用新案データベース、商標・意匠データベースへのアクセスを提供しています。<http://eng.kipris.or.kr/>からアクセスできます。

…KIPOは特許料金を改定しましたか？2006年5月以後の韓国の年金更新料とクレームの追加料金の新料金構造によると、13年目以降の基本年金は固定料金となります。また優先審査請求の場合、クレームに対する追加料金は引き下げられました。詳しくは、KIPOウェブサイトの“特許料金と優先審査料金減額、5月1日から開始する”のKIPOニュースをご覧ください。www.kipo.go.kr/eng/。

…SIPOはウェブサイトを開きましたか？再デザインされた中国特許庁(SIPO)ウェブサイトが、2006年4月24日、www.sipo.gov.cnで再開されました。SIPOデータベースの中国インターフェースに対してEPOのステップバイステップサーチガイドがアップデートされ、SIPOサイトにその変更が反映されました。これらは、

http://patentinfo.european-patent-office.org/prod_serv/far_east/china/db_search/index.en.phpの極東ウェブページ-EPOのFAQ上で利用可能です。

…中国は、IPR保護2006の行動計画を発表しましたか？2006年3月8日に発表された行動計画は、今年のIPR保護に関する中国の課せられた任務を定義するものです。この詳細の英語版は、<http://english.ipr.gov.cn/en/index.shtml>をご覧ください。(情報源：中国デイリーとwww.ipr.gov.cn)

…中国政府はIPR保護のため国内作業グループを発足しましたか？作業グループの職務は、IPR法と規則の起草、IPR施行の改善、そして一般的なIPR意識の向上が含まれています。2006年度IPR行動計画を含む他のドキュメントと一緒に英語版の中国法及び規則は、ワーキンググループウェブサイト、<http://english.ipr.gov.cn/en/index.shtml>でご覧になれます。

…2005年に、CTMOは連続4年間世界で最も多くの商標出願を受領しましたか？2005年に664000件の出願を受領しました(過去の年に比べ13%増)。中国商標庁(CTMO)は商標出願件数では世界ナンバーワンの受領庁に返り咲きました。(情報源：Managing Intellectual Property, 04/2006)

…日本のPCT出願の番号付与にこれ以上の変更が予想されますか？JPOは今年の後半までに、PCT-SAFEソフトウェアを使って完全に国際出願を電子化する予定です。この方法で出願された出願には、最初に“34”で始まる番号が付与されます。(例えば、PCT/JP2006/340001)(情報源：PCTニュースレター 4/2006-

www.wipo.int/edocs/pctndocs/en/2006/pct_news_2006_4/pdf)

…JP出願の包袋とフルJPDドキュメントがJPOのIPDLから入手可能ですか？2006年3月27日に導入された新しいサービスの一環として、JPOの無料の特許電子図書館(IPDL)は、包袋と、2003年7月からの日付のものに関してJPOから出願人にテキストの通信を提供しています。同じ日に、IPDLは、特許ドキュメントの提供をPDF形式で1MBまでダウンロードできるようにしました。大きなドキュメントは分割し、少しずつダウンロード出来るようになりました。IPDLは、www.ipdl.ncipi.go.jp/homepg.ipdlからご覧になれます。これらのサービスは日本語ですが、EPOのFAQからはステップバイステップガイドで簡単にアクセスできます。日本セクションは、http://patentinfo.european-patent-office.org/prod_serv/far_east/japan/db_search/index.en.phpです。

マレーシアがまもなくPCTに加盟するのでしょうか？マレーシアは2006年5月16日、PCTに加盟文書を送った。これにより2006年8月16日に、正式にPCT加盟国の一員となります。

一日半のアジア向き講座

既に発表されましたように、特別アジア特許情報実践トレーニングコースが、2006年9月21-22日の二日間、ウィーンで行われます。日本人と韓国人の同僚達がこのイベントにトレーナーとして参加します。詳しくは、www.european-patent-

韓国特許法の変更点

韓国工業所有権庁(KIPO)による正式刊行物によると、改正特許法は、2006年10月1日に発効されます。

改正特許法により導入された主な変更点は次の通りです。

新規性 現行では、発明は韓国内で公然に知られていなく、また実施されていないものを新規なものとして考えてきました。しかし、新しい修正法では、発明は、如何なる国であっても、公然に知られ、実施されているものは新規性を失うと変更されました。

延長される期限 ドキュメントの提出期限が土曜日にかかるような場合には、次の月曜日まで延長されます。

異議と無効 特許係争の調停で遅れを生じさせてきた原因のひとつに、異議手続きと無効手続きのしばしば起こる重複があります。この理由から、これら二つの手続きは一つのシステム上に統合されることになるでしょう。

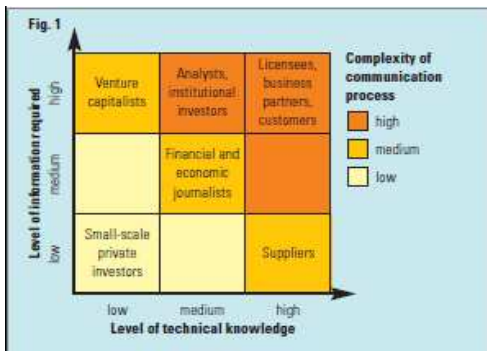
国内段階に移行 韓国国内段階に移行する期限は、PCT出願の優先日以後、30ヶ月から31ヶ月に延長されます。

実用新案の実体審査 現在、実用新案は実体審査無しに登録され、例えば、実施や侵害ケースで、請求のあった時のみ審査されます。新法では、全ての実用新案出願は特許付与前に実体審査が実施されます。

あなたの特許の価値をどのようにして理解してもらうか

パテントインフォメーションニュースの過去の記事の中で、特許の価値を決定するいくつかのアプローチ記事を集めました。この記事では、特許の価値を如何に異なる関心を持つグループに理解させるかを見てみましょう。

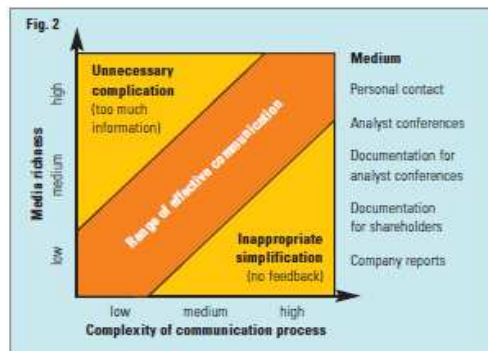
そうするには、関心のある色々なグループの要求や期待を考慮する必要があります。例えば、あなたの特許の価値についてあまり技術的に知見がない小規模な個人投資家を納得させようとする場合、特許の技術的主题、或いは評価方法を事細かく説明するときには若干のコツが要るようです。ターゲットとするグループに対する発明の利益、企業に対する意義を説明するときには一般的な言葉で説明するのが良いでしょう。反対に、深い技術的知識を有する実施権者と成り得る人が必要とする情報は、より詳しく、そして複雑なものが要求されます。図1にこの相関を示します。



図の出所: Wolfgang Burr and Michael Stephan "Performance Excellence - Zeitschrift für Controlling und Innovationsmanagement (ZFCI)" issue 03/2006

コミュニケーションプロセスの複雑さのレベルは、どのコミュニケーション媒体が、与えられたケースに最適かを示しています。個人投資家には、例えば、一方向性な媒体、例えば企業報告が良いでしょう。一方、ライセンス同意者に対しては、私的付き合いが不可欠です。Daft氏とLengel氏(1984)の両氏により提唱されたMedia Richness Modelによると、間違った媒体を使うと、無用な混乱、膨大な追加情報、或いは、まずい単純化のし過ぎのいずれかを引き起こすとされています。図2に、どの媒体があなたの特許の価値を理解してもらうのに良いか、それによって、企業にどんな経済的な効果をもたらすかがモデルを使って示されています。

詳しくは、jschaaf@epo.org の Johannes Schaaf までご連絡下さい。



news

「刊行物コーナー」は、パテント情報ニュースの定期的特集記事であり、読者に EPO 刊行物に関する統計と一般的な情報を提供しています。

Patent publications

January - June 2006	2006		Change vs. 2005
	Weekly average	Total Jan-June 2006	
EP-A documents			
EP-A1	842	21 883	12.1%
EP-A2	406	10 545	3.7%
Total EP-A1 + A2	1 247	32 428	9.2%
Percentage EP-A1 of total A1+A2		66%	
EP-A3	458	11 908	21.7%
EP-B documents			
EP-B1+B2	1 223	31 798	17.8%

■ EP-A1: サーチレポート付きヨーロッパ特許出願
 ■ EP-A2: サーチレポートなしのヨーロッパ特許出願
 ■ EP-A3: ユーロッパサーチレポート
 ■ EP-B1: ユーロッパ特許公報
 ■ EP-B2: 修正されたヨーロッパ特許公報
 注釈: 表には、PCT ルート(Euro-PCT)を経由したヨーロッパ特許出願の統計は含まれていません。それらは、WIPOで公開され、英語、フランス語、ドイツ語以外の言語でなければEPOでは入手できません。現在、ヨーロッパ特許出願の約60%がEuro-PCT出願です。

出願人のためのガイド (Euro-PCT)

“出願人のためのガイド”のアップデート版、2巻(Euro-PCT)は、今、英語版とドイツ語版(フランス語は後日)がEPOウェブサイト

www.european-patent-office.org/legal/guiapp2/index.htm で無償にて入手できます。又は、infowien@epo.org にメールして下さい。

ヨーロッパ公報サーバにアクセスするウェブサービス

ヨーロッパ公報サーバは、EPドキュメントの信頼できる無償の情報源です。

SOAP技術に基づいた“ウェブサービス”を使って、ヨーロッパ公報サーバにアクセスする方法は、現在試験中です。公報サーバに直結する新しいウェブサービスはPDF、SGML、XMLデータで提供されます。

詳しくは、EPOウェブサイト、http://publications.european-patent-office.org/Publication-Server/doc/European_publication_server_webservice_doc_v1.pdf 又は、publications@epo.org にメールして下さい。

RSSが、WIPOの PatentScope 上で稼働

WIPOは、まさに今、PatentScopeのインターネットサービス上で、RSSの利用を可能にしました。これは、新しいPCT出願が公開された時の毎水曜日に、あなたのサーチ結果に関する更新がPatentScope上でRSSを使って受け取れるようになりました。

詳しくは、www.wipo.int/pctdb/en/news/news_004.html をご覧下さい。

IPRヘルプデスクは、RSSを特許環境で使用方法について一般的な情報を、www.ipr-helpdesk.org/newsletter/22/html/EN/howToFindAPatent.html で公開しています。

RSS

情報に溺れる

オンライン上で入手可能な IP 情報の爆発的な増加と、それに比例して IP 認識の増加とは一致していません。WIPO が最近発表した記事の中に、EPO のディレクターである Paul Schwander 氏が、このエリア:

www.wipo.int/sme/en/documents/ip_info_serv_innov.htm で、その現象と現在の傾向について検討しています。

オンラインヨーロッパパテントレジスタとオンラインファイル閲覧の中止

Register Plus が順調に軌道に乗った為、EPO は“オンラインヨーロッパパテントレジスタ”と“オンラインファイル閲覧”サービスを、2006 年 7 月 3 日をもって閉鎖しました。Register Plus は www.epolinw.org で利用可能です。

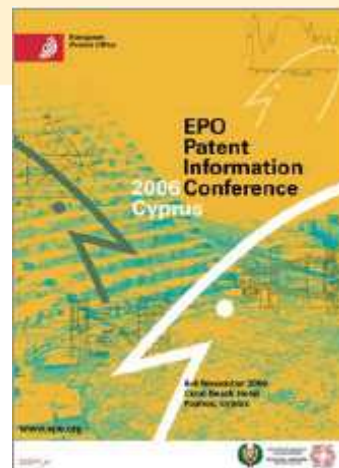
ESPACE ACCESS—EPC—最近の改良

ESPACE ACCESS—EPCデータベースには、書誌データと 29 ヶ国の EPO 加盟国の英文アブストラクトが収録されています。アブストラクト製作段階の徹底的な見直しの甲斐あって、英文アブストラクト付き書誌レコード率は約 81% に増えました。

IPCリフォーム

データベースが DVD-ROM で年 4 回配送のため更新される中で、2006 年 3 月巻は、第 1 回の IPC8 情報の収録された最初の巻となりました。そして、現在、アドバンスト、コア、発明性および付加カテゴリーに従って配備された IPC8 情報をサーチ、表示することができます。

ESPACE-ACCESS-EPC の定期購読予約には、年 4 回のアップデートを含む、年間 150 ユーロと送料・梱包代が必要です。subs@epo.org までお問い合わせ下さい。



EPO特許情報会議のプログラム

今年のEPO特許情報会議用のプログラムと、参加登録に必要な全詳細は、会議ウェブサイト:

http://www.epo.org/epidos/conf/epopi_c2006 をご覧下さい。

Some important telephone numbers

Vienna information service

Tel.: +43 1 52126 4051
Fax: +43 1 52126 4533
e-mail: infowien@epo.org

EPO on the internet

www.epo.org
Tel.: +43 1 52126 4032
Fax: +43 1 52126 3292
e-mail: webteam@epo.org

Paper publications

Tel.: +43 1 52126 4548
Fax: +43 1 52126 2491
e-mail: docdeliv@epo.org

Electronic publications advice line

Tel.: +43 1 52126 2411
Fax: +43 1 52126 2492
e-mail: epal@epo.org

EPO Customer Services are open for your enquiries on all matters relating to European patents:
Tel.: +49 89 2399 4636, e-mail: infowien@epo.org

Subscriptions

Tel.: +43 1 52126 4546
Fax: +43 1 52126 2492
e-mail: subs@epo.org

INPADOC helpdesk

Tel.: +43 1 52126 115
Fax: +43 1 52126 3292
e-mail: inpadoc@epo.org

Asian patent information

Tel.: +43 1 52126 4545
Fax: +43 1 52126 4197
e-mail: asiainfo@epo.org

Training

Tel.: +43 1 52126 1043
Fax: +43 1 52126 4533
e-mail: training.vienna@epo.org

Switchboard

Tel.: +43 1 52126 0

Impressum

Publisher: Wolfgang Pilch
Managing Editor: D. Shalloo
Contributors: P. Avédikian, N. Clarke, P. Gilbert (Barker Brettell), P. Le Gonidec, L. McDonald, H. Moohan, I. Muñoz Ozores, P. Paris, W. Pilch, K. Rowles, J. Schaaf, I. Schellner, D. Shalloo, V. Vajsbaier, A. Wenzel
Design: Atelier 59, Munich

Patent Information News is published by the Principal Directorate Patent Information, European Patent Office, Vienna sub-office, Rennweg 12, 1030 Vienna, Austria, Tel.: +43 1 52126 0
The opinions expressed in this publication are not necessarily those of the EPO.
ESPACE, esp@canet and epoline are registered trade marks.